

1月末に調査した2010年2月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2010年2月の消費意欲は、先月から2.0ポイント減少し、
47.8点でした。

前年同月比は0.3ポイントの増加。2月としては過去2番目に低い数値。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

1月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者412名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2010年2月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「2月の消費意欲指数」です。

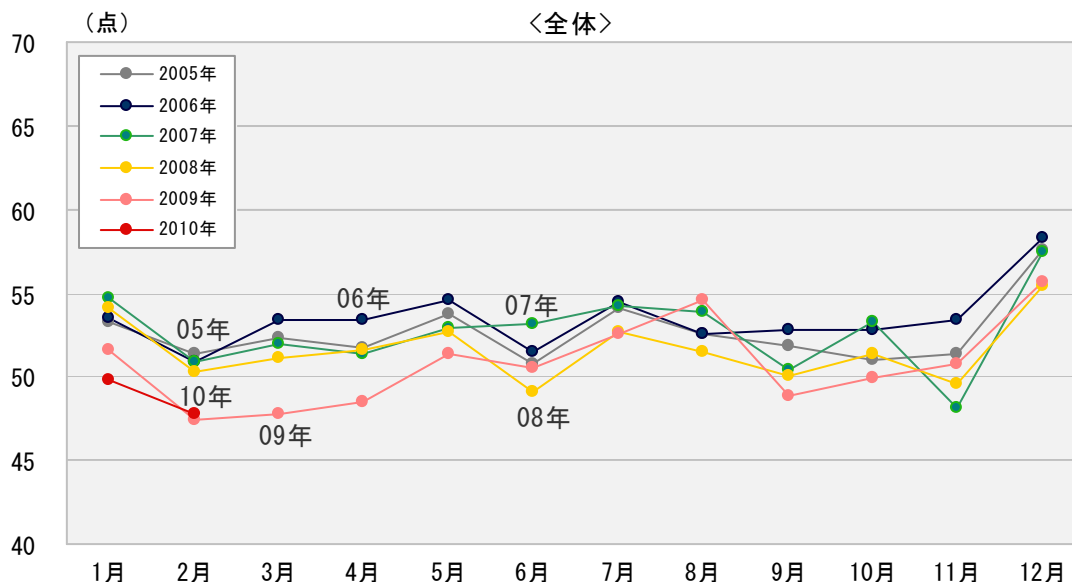
この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2010年2月の消費意欲指数は先月から2.0ポイント減少し、47.8点でした。

2010年2月の消費意欲指数は先月比が2.0ポイント減少、前年同月比は0.3ポイント増加の47.8点となりました。前年同月比はプラスとなったものの2月の指数としては過去2番目の低さでした。1月、2月と低水準の数値が続いています。

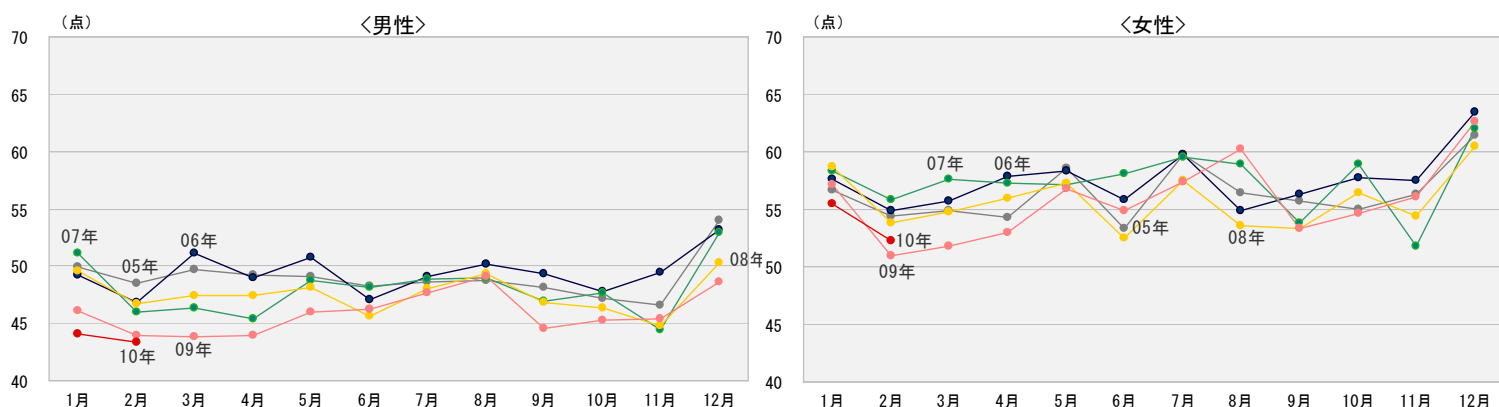
内閣府が発表した2009年12月の景気一致指数は、製造業の生産活動や鉱工業生産指数の伸びにより9ヶ月連続で上昇となりました。しかし、生産は拡大しても雇用や所得への波及は弱く、景気回復に力強さが見られません。1月の月例経済報告の景気基調判断も、持ち直してきているが雇用情勢が改善しないなど「依然厳しい状況」との判断です。マクロの指標は改善しても暮らしの先行きは不透明で、生活者の消費意欲はなかなか上向きません。

例年3月は、2月より指数がアップしますが、このような状況の中で、今年の3月がどのくらいの数値になるか注目したいところです。



■ 男女ともに前月比ダウン。女性は前年比プラスだが数値は低水準。

男女別の消費意欲指数は、男性が先月比0.7ポイント減少、前年同月比0.5ポイント減少の43.4点、1月に続き前年割れとなり2月としては過去2番目の低さでした。女性は先月比が3.2ポイント減少、前年同月比は1.3ポイント増加しましたが数値は52.2点と低い水準です。パネルの声を拾ってみると、相変わらず「先行きが不安」「お金がない」という人が多いですが、年末年始に出費したので今月は抑えたいという気持ちも強いようです。また、今月は「特に欲しいものがない」という人が男女とも目立ちます。冬のボーナスや初売りバーゲンでとりあえず欲しいものは購入した、ということもあるのでしょうか。



同時調査の生活力点の「モノ消費」項目をみると、男性では「日常的な小さな」「中くらいな」「大きな値の張る」買い物がいずれも前月よりアップしましたが「日常的な」「中くらいな」はまだまだ低い水準です。一方、女性は3項目とも先月比がダウン、特に増加が続いていた「日常的な小さな」買い物が大幅にダウンしました。年末年始の出費への反動もあるようです。

※博報堂生活総合研究所のWEBサイト「生活総研 ONLINE」(<http://seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査・研究データにご自由にアクセスして頂くことが可能です。是非一度ご覧ください。

【調査概要：生活発見パートナーズ調査】

調査地域：首都圏／調査対象者：18～75才の男女個人412人／調査方法：郵送法

本件に関するお問い合わせ

博報堂広報室 西尾・山野・黒河 (03-6441-6161)

博報堂生活総合研究所 (03-6441-6450)

消費意欲指数・12ヶ月移動平均※（ウェイトバック数値）

全体消費意欲(ウェイトバック数値)

消費意欲	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
1993年													
1994年				60.3	60.6	60.7	60.9	60.9	60.8	60.9	61.1	61.5	60.9
1995年	61.7	61.6	61.5	61.5	61.4	61.4	61.2	61.2	61.1	60.9	60.9	60.6	61.3
1996年	60.4	60.4	60.3	60.3	60.3	60.3	60.3	60.2	60.4	60.3	60.4	60.7	60.4
1997年	60.6	60.4	60.6	60.4	60.0	59.7	59.7	59.7	59.5	59.4	59.2	58.8	59.8
1998年	58.7	58.4	57.9	57.9	58.1	58.0	57.7	57.6	57.5	57.5	57.4	57.4	57.8
1999年	57.3	57.6	57.9	57.9	58.0	58.0	58.2	58.2	58.2	58.2	58.2	58.1	58.0
2000年	58.3	58.3	58.5	58.7	58.4	58.1	57.6	57.2	56.7	56.4	56.1	56.0	57.5
2001年	55.6	55.2	54.7	54.3	54.2	54.2	54.2	54.3	54.3	54.0	53.6	53.2	54.3
2002年	53.0	52.8	52.5	52.3	52.1	51.9	51.8	51.7	51.9	52.3	52.5	52.5	52.3
2003年	52.5	52.3	52.4	52.3	52.2	52.3	52.2	52.2	52.0	51.7	51.7	51.7	52.1
2004年	51.7	51.9	51.8	51.8	51.7	51.8	52.0	52.0	52.1	52.3	52.2	52.3	52.0
2005年	52.4	52.4	52.6	52.7	53.0	52.8	52.8	52.7	52.8	52.6	52.6	52.7	52.7
2006年	52.7	52.6	52.7	52.9	52.9	53.0	53.0	53.0	53.1	53.2	53.4	53.4	53.0
2007年	53.5	53.5	53.4	53.2	53.1	53.3	53.2	53.4	53.2	53.2	52.8	52.7	53.2
2008年	52.6	52.6	52.5	52.5	52.5	52.2	52.1	51.9	51.8	51.7	51.8	51.6	52.2
2009年	51.4	51.2	50.9	50.6	50.5	50.7	50.6	50.9	50.8	50.7	50.8	50.8	50.8
2010年	50.6	50.7											50.7
前年比	98.5	99.0											98.7

※本数値は季節調整手法により、四季の気候や特定月に発生するイベント・出来事などの影響を除去した時系列データです。